

特集

異文化に触れ、未来を描く

オーストラリア ケアンズ訪問 第17回 中学生海外派遣

町では町内中学校の2年生を対象に、現地の生徒や家族との交流を通じて生活や文化に触れるとともに、外国語による表現と理解を高め、国際感覚豊かな青少年の育成と国際交流の推進を図ることを目的として、中学生を海外に派遣しています。

今年は、8月5日から12日までの8日間、生徒22名がオーストラリアのケアンズに派遣されました。

現地で生徒たちは、学校訪問による授業参加や、ホームステイを体験しました。日本とは違う言語や生活習慣、文化に触れ、ホストファミリーや現地の中学生との交流を通して、コミュニケーションの大切さを肌で実感し、様々な人たちの温かな支えによって、多くのことを学んで帰国しました。

参加した生徒の皆さんに、アンケートをとりましたので、ここに紹介します。



ケアンズステートハイスクールにて

全日程表		
月日	地名	スケジュール
8/5 (金)	上三川町 成田空港 (機内泊)	午後3時出発式、その後、 成田空港空路、 オーストラリア・ケアンズへ
8/6 (土)	ケアンズ着 (ホームステイ)	ホストファミリーと対面式 ホストファミリーデー
8/7 (日)	ケアンズ郊外 (ホームステイ)	ホストファミリーデー
8/8 (月)	ケアンズ郊外 (ホームステイ)	学校訪問・体験授業・ 英語の語学研修
8/9 (火)	ケアンズ郊外 (ホームステイ)	学校訪問・体験授業・ 英語の語学研修
8/10 (水)	ケアンズ (ホームステイ)	グリーン島研修 (世界遺産グレートバリアリーフ) ホストファミリーとのFarewell Party
8/11 (木)	ケアンズ	キュランダ村研修 (世界遺産デインツリーフォレスト 及びアボリジニ文化)
8/12 (金)	ケアンズ 成田空港 上三川町	空路、ケアンズから成田空港へ バスで上三川町へ

参加生徒	
所属名	氏名
本郷中学校	高村 良汰 (たかむら りょうた)
	富岡 涼介 (とみおか りょうすけ)
	松村 翼 (まつむら つばさ)
	松本 望来 (まつもと みく)
	山上 鈴奈 (やまがみ すずな)
上三川中学校	高久 莉央 (たかく りお)
	大塚 佑菜 (おおつか ゆうな)
	片寄 帆香 (かたよせ ほのか)
	濱野 愛理 (はまの あいり)
	早川 心 (はやかわ しん)
	北條 壮磨 (ほりょう そうま)
	北條 優佳 (ほりょう ゆか)
	高橋 誉暉 (たかはし やすあき)
松井 佑太 (まつい ゆうた)	
明治中学校	岡本 健吾 (おかもと けんご)
	上山 拓馬 (かみやま たくま)
	岡田 珠采 (おかた みこと)
	駒場 彩乃 (こまば あやの)
	清田 珠咲 (きよた みさき)
	菅間菜々美 (すがま ななみ)
加藤 璃子 (かとう りこ)	
吉田 優希 (よした ゆうき)	

今回の海外派遣にあたって

参加生徒に次の3つの質問をし、回答をいただきました。

- ①この海外派遣で得たものは何ですか？
- ②この海外派遣を自分の将来に、どのように役立てていきますか？
- ③今回の海外派遣で一番印象に残っていることを、五・七・五・七・七で表現してください。

高村 良汰

①英語でのコミュニケーションの取り方が分かったことと、物事に積極的に取り組むことになったことです。

②英語でのコミュニケーションの楽しさを知り、もっと英語を勉強して国際的に通用する人になりたいと思いました。

③ケアンズで、みがきをかけた 英会話 身振り手振りは、もっと上達

富岡 涼介

①オーストラリアの文化や自然、オーストラリア人の性格、海外派遣参加者との仲の深まりなどを得ました。

②4年後、東京オリンピックが開かれ、たくさん外国人が来るので、その時やその先に英会話で話せたらなと思っています。

③この旅で、オーストラリア 学ぶとき 未来へつなぐ、ほぐらの光

柏村 翼

①異国の友人や団員との友情。そして、会話の中で知っている単語を探して、分かるまで聞く粘り強さです。

②異国の友達との交流で、物事を多面的に見ることを学びました。広い視野を持つことを心がけ、今後に役立てたいです。

③ネイティブな 英語を毎日 耳にして 必死に探すは 動詞と名詞

松本 望来

①国外の人々と一週間過ごすことで、英語での会話がすすんでできるようになり、英語での会話が楽しくなりました。

②将来、私は海外にたくさん行きたいと考えているので、現地の人とたくさん話すことに役立てたいと思います。

③楽しかった 海外派遣 習慣や 言葉も違うが、通じる気持ち



ホストファミリーとの出会い

山上 鈴奈

①「コミュニケーションを取れ、出発前よりも英語が上達したように感じ、それが自信につながりました。

②私は、海外から来るお客様に、日本の素晴らしい場所や良さを、海外派遣で学んだ英語を使って案内したいです。

③あきらめず 理解しようと がんばれば 相手もきくと 応えてくれる

高久 莉央

①自分で考えて、英語で積極的に伝える力がついたと思います。

②今回の海外派遣で、伝えたい言葉がスムーズに出てこなかったため、勉強して英語を教えられる人になりたいです。

③一週間 たくさんついた 英語力 今伝えたい 感謝の言葉

大塚 佑菜

①自ら話しかけることの楽しさ、言葉が伝わらなかったときの悔しさ、日本との文化、生活の違いを学びました。

②積極性や責任感、人と人が助け合う大切さを学びました。これらを生かし、自分の将来に繋げていきたいです。

③戸惑いが 自信に変わる 伝えたら 成長できた 自分の心

片寄 帆香



学校訪問の様子

①外国と日本のたくさん文化の違いを知り、改めて英会話の楽しさを知れたことです。

②今回の海外派遣で、自分の英語力が低いことが分かったので、これからもっと英語を勉強して、将来に役立てたいです。

③異国の地 文化の違い あるけれど 友の笑顔に 国境はなし

濱野 愛理

①積極性だと思います。ジエスチャーや単語を使って、相手に気持ちを伝えようとがんばったからです。

②コミュニケーションをとる楽しさを知ったので、英語を学んでいき、たくさんの人と接していきたいです。

③不安の中 おかった家で 待っていた ホストファミリー 優しい笑顔

早川 心

- ① 外国人と、いっぱいコミュニケーションを取ること。単語だけでもいいから、一生懸命伝えること。
- ② 人と関わる楽しさやうれしさを知ったので、将来、英語関係の仕事に就きたい。
- ③ ケアンズの 人々笑顔に いやされ て 頑張つて伝えた 自分の思い

北條 壮磨

- ① 消極的では自分の意思が全く相手に伝わらない。海外派遣で積極的にあることの大切さを学び得た。
- ② この派遣で学んだ、コミュニケーションの大切さを活かし、もっと多くの人々と接し、多くのことを学びたい。
- ③ 英語で 自分の意思が 相手に 伝わったときの 達成感



アポリジニ文化体験

北條 優佳

- ① 自分から行動する積極性や、コミュニケーションの大切さ。
- ② これから、もっと英語を勉強したり積極性を伸ばす。今回得たチャレンジ精神で何事にも挑戦していきたい。
- ③ 学校で 楽しく話す 私とバディ 笑顔あふれる 貴重な時間

高橋 誉暉

- ① 積極的に自分から話しかけてコミュニケーションを取ること。
- ② もし、また海外に行くことになったら、相手の人と笑いながら話していたい。
- ③ 学校で バディと楽しく サッカーで 最後の別れの ホイッスル響く

松井 佑太

- ① 英語でのコミュニケーション能力と積極性、そして何とんでも伝えるあきらめない心と強いメンタルです。
- ② まだ、将来の夢は決まっていますが、英語を使う機会は必ずあると思うので、積極的に英語で会話をしたいです。
- ③ ケアンズの ホームステイで 気が付いた 日本のよさと ケアンズのよさ

岡本 健吾

- ① 英会話力です。実際に現地の方と話すことによって、英会話に自信が持てました。
- ② もし自分が外国に関わる仕事に就いたときには、この研修を思い出して積極的に仕事に励むようにしたいです。
- ③ ホームステイ 言葉の不安 何処へやら 家族の親切 とてもうれしく

上山 拓馬

- ① 経験です。今回の海外派遣で視野がとても広くなったので、今後は、もっと視野を広めるために、いろいろと挑戦したいです。
- ② 将来、留学をしようと思っているので、今回の海外派遣をしつかりと役立てていきたいと思っています。
- ③ はじめての ホームステイは 予想より とても楽しく 家族は優しい

岡田 珠采

- ① 自分の意思や思っていることを、はっきりと英語で伝えること。
- ② 私は英語の幼稚園の先生になりたいので、外国の先生達とたくさんコミュニケーションをとりたい。
- ③ Hi, Mikoto 気さくな笑顔で ハイタッチ 思い出いっぱい 夏のケアンズ

駒場 彩乃

- ① 積極的にコミュニケーションを取ること、仲間と協力することの大切さを学びました。
- ② 将来、海外の人と関わる職業に就きたいので、今回の経験を生かしていきたいです。
- ③ たくさんのお話と共に 笑顔あり ホストファミリーの 折り鶴講座

清田 珠咲

- ① 何事にも挑戦して前向きに進むことが、あらためて大切だということを実感した。待つことも何も始まらない。
- ② 2020年の東京オリンピックでは世界中から選手や観光客が来るため、海外派遣で学んだ英語を役立てたい。
- ③ ホームステイ 大変なことも あったけど 挑戦することを 教えてくれた



学校訪問の様子

菅間 菜々美

①つらい思いをしたら、それを自分がかかえ込まないで、相談をすることが大切なんだと、この海外派遣で実感できました。

②どんなにつらいことがあっても、差別をせず、協力し合って生活していきたいと思いました。

③勇気だし、話しかけたら、通じ合う心と心で、照らし合わせる

加藤 璃子

①オーストラリア独特の文化や植物の大切さ、そして、日本とオーストラリアの違いがよく分かりました。

②海外に行ったことを生かして、国際的に活躍できるようにになりたいです。

③ホームステイ、いろんなことが体験できる、とてもきれいなオーストラリア

吉田 優希

①相手に自分の意思を伝えることの大切さ、それが伝わった時の喜び、何かに夢中になって取り組むすばらしさです。

②この経験を生かし、更にコミュニケーション能力を高め、外国人との交流を深めていけるようになりたいです。

③伝えたい、この気持ちが生まれた時の、自分の視野に、光差し込む



学校訪問の様子



グリーン島にて

【報告会】

8月23日(火)に、上三川町役場大会議室において帰国報告会を開催しました。

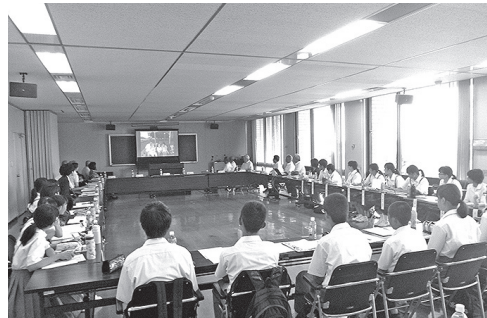
報告会では、町長や議会関係者の方などを前に、生徒や引率した先生方から報告がありました。

引率者からは「メリハリのある行動ができた」「海外にいるという高揚感の中で、地に足をつけた落ち着いた行動が取れた」と、生徒を大いに評価する報告がありました。

生徒たちからは、「勇気を出して話すチャレンジ精神を学ぶことができた」「自分の英語が通じたことで上達したように感じ、自信が持てた」などの報告がありました。

また、「もっと英語を勉強し、将来は使う仕事に就きたい」「東京オリンピックのときに、この経験を役立てたい」など、今後についての発表もありました。

生徒たちの言葉の一つ一つや表情から、多くの貴重な体験を積んできたことが伝わってきた報告会でした。



【派遣団長報告】

団長 氷室 清(上三川中学校校長)

町内3校の生徒22名によるケアンズ市への海外生徒派遣事業。生徒たちは、派遣にあたっての説明や現地校での、あるいは現地の方々を招いての文化交流のため、6月末から学校や町役場において幾度となく練習を重ねてきました。

現地においては、生徒個々が、派遣先の学校や現地研修センターでの学習・ホームステイなどを通し多くのことを学びそれぞれの収穫としましたが、同様に現地の方々に対し、全員での発表や各中学校又は個人での交流を行い、上三川町や日本、そして日本人についてより知っていただく良い機会となったことと思います。

22名の小さな派遣団は、本事業で得た経験をこれから各学校の多くの生徒に還元し、より町の発展に貢献できると信じています。本事業を支えてくださいました多くの皆様に深く感謝申し上げます。

▶問い合わせ先＝教育総務課 学校教育係 ☎(56) 9156